

TOSHIBA



S300 Pro Surveillance Hard Drives

細部まで捉える

監視カメラ向けHDD S300 Proは、24時間365日信頼性の高い監視を行うために設計およびテストされており、速度、容量、およびコンテンツの長期保存を実現できます。最大64台のビデオカメラからすべてのフレームを高解像度でキャプチャして分析が可能。最大10 TBの容量により、一定期間にわたるビデオ履歴を継続的にキャプチャでき、高解像度で物体識別と顔認識を使用してイベントをリアルタイムに記録および再生できます。



用途

- ・監視カメラ用デジタルビデオレコーダー (sDVR)
- ・監視カメラ用ネットワークビデオレコーダー (sNVR)
- ・ハイブリッドsDVR (アナログおよびIP)
- ・監視カメラ用の RAID ストレージアレイ

特長

- ・24時間365日稼働
- ・最大 64 台のカメラ接続
- ・最大 180 TB/年 のワークロード
- ・MTTF/MTBF 最大100万時間
- ・7200 rpm のディスク回転と 256 MiB バッファ
- ・CMRテクノロジー
- ・3.5型フォームファクター

容量

10 TB 8 TB 6 TB



S300 Pro

 Surveillance Hard Drives

容量 *1	10 TB	8 TB	6 TB	
型番	HDWT31AUZSVA	HDWT380UZSVA	HDWT360UZSVA	
基本仕様				
記録方式	CMR			
インターフェース	SATA 6.0 Gbit/s			
メカニカルデザイン	Air			
フォームファクター	3.5型			
セクターサイズ	512e			
機能				
対応カメラ台数 *2	up to 64			
対応ドライブベイ数	8+			
24時間365日稼働	yes			
回転振動セーフガード(RVS)	yes			
衝撃センサー	yes			
性能				
ディスク回転数	7200 rpm			
最大連続データ転送速度 *3	248 MB/s (237 MiB/s)		241 MB/s (230 MiB/s)	
バッファサイズ *4	256 MiB			
信頼性				
MTTF / MTBF *5	1 000 000 hours			
回復不能エラーレート	1 per 10E14			
最大ワークロード *6	180 TB/year			
ロード/アンロードサイクル	600 000 times			
電源仕様				
電源電圧	12 VDC ±10 % 5 VDC +6 / -5 %			
消費電力	動作時	9.48 W	8.61 W	7.88 W
	アクティブアイドル時	7.15 W	6.33 W	5.59 W
環境仕様				
温度	動作時 *7	0 to 70 °C (Surface)		
	非動作時	-40 to 70 °C		
振動	動作時	7.35 m/s ² {0.75 G} (5 to 300 Hz) 2.45 m/s ² {0.25 G} (300 to 500 Hz)		
	非動作時	29.4 m/s ² {3.0 G} (5 to 500 Hz)		
衝撃	動作時	686 m/s ² {70 G} (2 ms duration)		
	非動作時	2450 m/s ² {250 G} (2 ms duration)		
騒音	アクティブアイドル時	34 dB (Typ.)		
寸法				
奥行き×幅×高さ	147 (L) x 101.85 (W) x 26.1 (H) mm (Max)			
重量	770 g (Max)			

*1 記憶容量: 1TB(1テラバイト) = 1兆バイトですが、利用可能なストレージ容量は、動作環境やフォーマットによって異なる場合があります。利用可能な容量は、ファイルサイズ、フォーマット、セッティング、ソフトウェア、オペレーティングシステム、プリインストールされたソフトウェアアプリケーション、メディアコンテンツによって異なります。フォーマット容量とは異なる場合があります。

*2 監視カメラのサポート数は、10Mbit/sの高精細カメラデータによる性能シミュレーションによって定義されています。実際のサポート数はカメラの種類、ハードウェア、ソフトウェア、システム、ビデオデータ圧縮技術、解像度、フレーム数およびその他の要因で変わります。

*3 読み出しおよび書き込み速度は、ホストシステム、読み書き条件、ファイルサイズなどによって変化します。

*4 1MiB(1メガバイト)は1048576(2の20乗)バイトとして計算しています。

*5 MTTF/MTBF (平均故障時間/平均故障間隔)は製品寿命の保証や目安ではなく、製品の平均故障率から統計的に算出したものです(実際の稼働環境を必ずしも反映するとは限りません)。実際の稼働時間はMTTF/MTBFとは異なる場合があります。

*6 ワークロードは、年間のデータ処理量の目安であり、ホストシステムからのコマンドで実行される読み書きやペリファイによるデータ量として定義されます。

*7 動作時の表面温度が高い場合、ドライブ出荷時の性能を維持できないことがあります。推奨表面温度(動作時)は、60度未満です。

・写真は掲載時におけるイメージです。

・設計および使用に際しては、本製品に関する最新の情報および本製品が使用される機器の取扱説明書などをご確認の上、これに従ってください。